えらぶで しまむに み〜つけた!

いらぶにてぃ しまむに とぅめたん!

しまむには、会話の中で減っていても、島で見かけることはむしろ増えているのかも。
場所や店の名前、看板に書かれた標語や、商品の名前など、
よく探してみると、あちこちでしまむにを発見できます。一部を紹介。
あなたも、しまむにを探してみませんか?



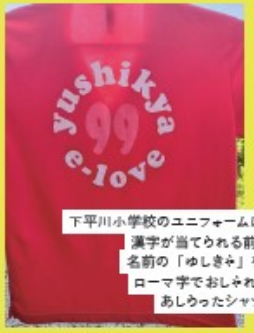
子どもにもお年寄りも楽しめる「わどまい(和泊)島むにかるた」。読み札は子どもたちが長寿会といっしょに作成。イラストも子どもたちによるものです。

手々知名字のしまむにでの字名は、旧名の「あかたじ」。舟こぎ競技などで着ることで、一致団結!気合が入ります。





立派な遊具とブランコがある、ヤーシチ公園。この「ヤーシチ」とは、敷地を町に寄贈した家の屋号なんだとか。



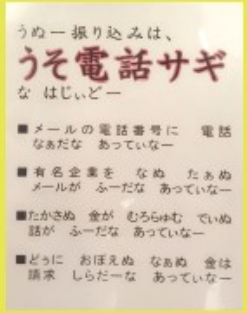
下平川小学校のユニフォームは、漢字が当てられる前の名前の「ゆしきゃ」を、ローマ字でおしゃれにあしらったシャツ!



しまむにのオノマトペ(擬音語・擬態語)が押せるスタンプです。気分に合わせてぺったんぺったん、押したくなる!



知る人ぞ知るえうぷの清流、皆川字の「ニャーグヌホー」は、ニャーグ(皆川の旧名)ヌ(の)ホー(泉や川)。ジッキョヌホーと似ている表現です。



島内の郵便局などの金融機関では、ATM のそばに、うそ電話詐欺について注意を促すしまむにも。



下平川小学校の3年生たちが創作童話「マンゴー太郎」を演じる様子。セリフは全編しまむにです。

カウンターで飲んでいると友達が増えているという居酒屋「もぉりもぉり」。実は「おいでおいで」という意味でした。お店にぴったりの名前ですね。







国頭(写真左)と瀬利覚(写真右)にある、交通安全の標語。同じ意味をそれぞれの字のしまむにで書いています。さて、なんと書いてあるか分かるでしょうか…?



夏に涼む子どもたちで賑わう、瀬利覚字の泉「ジッキョヌホー」。そのまま、ジッキョ(瀬利覚の旧名)ヌ(の)ホー(泉や川)という意味なんです。



「ゆーちゃーぶたんやー」は、「よくいらっしゃいましたね」という意味。ガジュマルの木を見に来る人が多い国頭小学校らしい言葉です。



元気よく体操をする人たち。実は田皆字のしまむにで歌われるラジオ体操に合わせています。また、知名町の防災無線でもしまむにバージョンが毎週日曜日に流れます。どこかの字のしまむにに偏らないように工夫されているのだとか。

えうぷで手に入る、字(集落)の名前が入ったシール「あざシール」。下に書かれてある名前は、しまむにでの字の呼び名です。



黒糖焼酎の「はなとり」は、蔵元の沖永良部酒造さんのある、玉城字の小字(地名)の名前から付けられました。「まぁさん」はおいしいという意味。まさに黒糖焼酎にふさわしい名前ですね。









知名町役場では、しまむにの方が話しやすい高齢の方の対応のため、職員などのしまむにの習得度を3段階で表すことのできるバッヂが用意されています。



仕立て屋さんの「アトリエ・カミジョー」のカミジョー(加美嬢)は、店主のお母さんのヤーナー(幼名)だそうです。名前負けするわぁ、とお母さん。



「さたぐるま」は、刈り取ったサトウキビから汁を絞り出す装置のことで、その名前が付いたお菓子です。「さた」だけで砂糖を意味します。

えうぷ発のご当地バンド「パンシローズ」の曲の歌詞には、よくしまむにが登場します。「アキラへの伝言」という曲では、メンバーの高風さん(黒貴字)のしまむにの語りが堪能できます。QRコードから動画をチェック!



※見出しのしまむには、芦清良字の勝間千津子さんに教えてもらいました。